

光衛星間通信実験衛星「きらり」(O I C E T S) プロジェクト 評価票

構成員名: _____

1. 成果

(1) アウトプット

平成17年3月の第4回推進部会において、O I C E T Sプロジェクトのサクセスクライテリアが了解されています。(別紙2参照)このサクセスクライテリアの各項目について、具体的にどのような結果が得られ、目標がどの程度達成できたのかについて評価してください。

☐妥当 ☐概ね妥当 ☐疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入ください。)

(2) アウトカム

平成4年7月に開発研究への移行が審議された際、光衛星間通信は、電波による衛星間通信に比べ、機器の小型化及び通信能力の向上が図れ、他の通信との干渉の発生が少ない等の特徴を有し、将来の衛星間通信に重要なものとされています。O I C E T Sプロジェクトは、この光衛星通信技術の実証プロジェクトとして位置付けられ、捕捉・追尾・指向技術、双方向光通信技術などの、光衛星間通信に必要な基盤技術を確立することを目的として実施しました。

このプロジェクトの目的に照らして、O I C E T Sプロジェクトで得られた成果が、現時点でどの程度効果があるかについて評価してください。

☐妥当 ☐概ね妥当 ☐疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入ください。)

(3) インパクト

本プロジェクトで得られた成果の波及効果として、目的として設定していた範囲を超えた、経済的、科学技術的、社会的な影響等についても、現時点で注目しておくべきものがあれば併せて評価して下さい。

(コメントを記入ください。)

2. 成否の原因に対する分析

○ I C E T Sプロジェクトを通じて得られた成果のほか、明らかになった技術的課題に関し、成否の要因分析が実施され、○ I C E T Sプロジェクトの遂行に活かされたか、将来の光衛星間通信技術の研究等への教訓として有効なものとなっているかについて評価してください。

☐ 妥当 ☐ 概ね妥当 ☐ 疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入ください。)

3. 効率性

効率性の評価は、プロジェクトの効率性と実施体制の2つの観点から行います。

(1) プロジェクトの効率性

○ I C E T Sプロジェクトの計画段階において予定された予算やスケジュールに関し、軌道上での実験が効率的に実施されたか、外的要因による計画の変更に如何に適切に対処したか、その他特段の問題点が認められるかについて評価してください。

評価にあたっては、国際共同研究による効率性も考慮してください。

☐ 妥当 ☐ 概ね妥当 ☐ 疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入ください。)

(2) プロジェクトの実施体制

プロジェクトの実施体制について、長期にわたる開発期間の中でどのように効率的に機能したかを評価してください。

評価にあたっては、関係機関及び企業を含めた連携、役割分担及び責任体制の明確さも考慮してください。

☐ 妥当 ☐ 概ね妥当 ☐ 疑問がある

(上記の評価根拠等コメントを記入ください。)

4. 総合評価

上記3項目を鑑み、総合的なコメントを記入下さい。その他、助言等があれば記載願います。

☐ 期待以上 ☐ 期待通り ☐ 許容できる範囲 ☐ 期待外れ

(上記の評価根拠等コメントを記入ください。)